

6) 青島恵子, 西山省二, 加藤輝隆, 加須屋実, 中村健一, 萩野 昇: イタイイタイ病における必須元素の尿中排泄について. 第55回日本衛生学会総会, 1985, 4, 熊本.

7) 西条旨子, 加須屋実, 寺西秀豊, 武田龍司: カドミウムの血管平滑筋に与える影響に関する実験的研究. 第55回日本衛生学会総会, 1985, 4, 熊本.

8) 寺西秀豊: 社会医学の課題に関する一考察. 第26回社会医学研究会総会, 1985, 7, 松山.

9) 山田 燦, 五十嵐隆夫, 伊藤 茂, 鏡森定信, 寺西秀豊, 中川秀昭, 中村凱次, 成瀬優知, 平沢好武, 平谷美智夫, 武藤一彦, 村上巧啓: 北陸児童生徒の気管支喘息罹患率調査. 第22回小児アレルギー研究会, 1985, 10, 金沢.

10) 西条旨子, 寺西秀豊, 加須屋実, 武田龍司: カドミウムの血圧におよぼす影響に関する実験的研究. 第28回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 1985, 10, 新潟.

11) 寺西秀豊: 農業労働とアレルギー性呼吸器疾患. 第44回日本公衆衛生学会総会, 1985, 10, 富山.

12) 森源三郎, 米山たつ, 寺西秀豊: 3才児健診事後の追跡指導. 第44回日本公衆衛生学会総会, 1985, 10, 富山.

13) 加藤輝隆: 「健康食品」をめぐる富山県の現状と問題点. 第44回日本公衆衛生学会総会, 1985, 10, 富山.

14) 武内孝之, 青木 敦, 大森佐与子, 加須屋実: カドミウム汚染地区住民の毛髪中微量元素濃度(Ⅱ). 第44回日本公衆衛生学会総会, 1985, 10, 富山.

15) 青島恵子, 中野昌俊, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋実: カドミウム腎症における尿中トレハラーゼ測定の意義. 第44回日本公衆衛生学会総会, 1985, 10, 富山.

16) 窪田裕子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 青島恵子, 西条旨子, 加須屋実: 富山県神通川流域カドミウム汚染地域における健康被害の実態. 第44回日本公衆衛生学会総会, 1985, 10, 富山.

17) 加藤輝隆, 鏡森定信, 加須屋実, 河野昭一: 低濃度大気汚染指標としてのスギ年輪解析. 日本薬学会衛生化学調査委員会北陸部会第3回学術講演会並びに談話会, 1985, 11, 金沢.

18) 加藤輝隆, 加須屋実, 鏡森定信, 河野昭一: 大気汚染植物指標としてのFrittsの年輪指数の適用. 第26回大気汚染学会, 1985, 11, 東京.

19) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 丸山明夫, 岡田敏夫, 寺西秀豊: ユスリカ喘息に関する研究—ユスリカ種別間の交叉抗原性

について—. 第12回北陸アレルギー懇話会, 1985, 12, 金沢.

◆ その他

1) 寺西秀豊: 特別講演 地域保健における衛生統計の活用. 昭和60年全国衛生統計協議会記録(富山県): 17—26, 1985.

2) 青島恵子, 加須屋実: カドミウムによる腎障害の予防と治療. 第5回イタイイタイ病セミナー, 1985, 11, 富山.

3) 公衆衛生学教室・保健医学教室編: 昭和60年度社会医学実習報告書 第6集, 1985.

法 医 学

教 授 滝 澤 久 夫
教 務 員 中 村 功

◆ 学会報告

1) 中村 功, 滝澤久夫, 山口弘信: 毛髪に対する抗血清の作製について. 第69次日本法医学会総会, 1985, 9, 盛岡.

2) 滝澤久夫: 血液型合成酵素の比較免疫学的研究. 第69次日本法医学会総会, 1985, 9, 盛岡.

3) 滝澤久夫, 中村 功, 西野主眞: A型変異型の一家系について. 第7回日本法医学会中部地方会, 1985, 10, 松本.

内 科 学 (1)

教	授	矢	野	三	郎
講	師	中	尾	皖	英
講	師	加	藤	弘	巳
助	師	浜	崎	智	仁
助	手	大	角	誠	治
助	手	水	島		豊
助	手	鈴	木	英	彦
助	手	山	下	直	宏
助	手	杉	山	英	二
助	手	池	本	雅	仁

◆ 著 書

1) Kobayashi S., Nakamura H., Kanakubo Y. and Hamazaki T.: Effect of Solcoseryl (SS-094) on erythrocyte filtrability In Cytoprotection and Cytobiology, by Miyake T. (Ed.), 144—148, Excerpta Medica, Amsterdam, 1984.

2) 矢野三郎: 尿崩症. 「今日の治療指針, 1985」

医学書院, 1985.

3) 矢野三郎: 糖尿病性ニューロパチーの治療—漢方薬の効果. 糖尿病学の進歩第19集, 日本糖尿病学会編, 91—94, 1985.

4) 矢野三郎: 内分泌・代謝疾患—現代医学の立場から. 「現代の漢方治療」大塚恭男他編, 48—49, 東洋学術出版社, 1985.

◆ 原 著

1) Hirai A., Terano T., Hamazaki T., Sajiki J., Saito H., Tahara K., Tamura Y. and Kumagai A.: Studies on the mechanism of antiaggregatory effect of moutan cortex. *Thrombosis Res.* **31**: 29—40, 1983.

2) Hamazaki T., Hasunuma K., Kobayashi S., Shishido H. and Yano S.: The effects on lipids, blood viscosity and platelet aggregation of combined use of niceritrol (Percyt) and a low dose of acetylsalicylic acid. *Atherosclerosis* **55**: 107—113, 1985.

3) Hamazaki T., Kobayashi S., Urakaze M., Yano S. and Fujita T.: Viscosities of some triglycerides and ethylester of fatty acids frequently found in cell membranes—a possible effect of viscosity of fatty acids in phospholipids on hemoreology—. *Biorheology* **22**: 221—226, 1985.

4) Nakao K., Mayer J.E. and Faber L.E.: Development of a monoclonal antibody to the rabbit 8.5S uterine progesterin receptor. *Can. J. Biochem. Cell Biol.* **63**: 33—40, 1985.

5) Suzuki H., Yamashita N., Sato M., Maruyama M. and Yano S.: Natural killer-like activity in human cultured lymphoid cells propagated in the presence of interleukin-2: acquired resistance to prostaglandin E₂-or dexamethasone-mediated suppression. *Experimentia* **41**: 667—669, 1985.

6) Ito M., Suzuki H., Yamashita N., Sugiyama E., Maruyama M., Sato M., Iwata M. and Yano S.: Beneficial effects of interleukin-2 on natural killer activity in lung cancer patients. *Anticancer Res.* **4**: 375—376, 1984.

7) Yamashita N., Suzuki H., Sugiyama E., Yano S. and Ito M.: Prostaglandin E₂ inhibits the generation of phytohemagglutinin-activated killer activity in human peripheral blood lymphocytes. *Anticancer Res.* **5**: 617, 1985.

8) Yamashita N., Sugiyama E., Maruyama M., Mizushima Y. and Yano S.: Immunological studies of chest disease. (II) Effects of IL-2 and PGE₂ on induction of nonspecific killer cells by lectin in lung cancer patients. *Jap. J. Med.* **24**: 380, 1985.

9) Mizushima Y., and Cohen E.P.: A Study on an artifact introduced by fetal bovine serum-supplemented medium. *Hokkaido J. Med. Sci.* **60**: 321—326, 1985.

10) Mizushima Y., and Cohen E.P.: Comparison of mycoplasma(s)-derived B cell mitogenic activity with lipopolysaccharide. *Hokkaido J. Med. Sci.* **60**: 578—585, 1985.

11) Mizushima Y., and Cohen E.P.: Immunoprotective capability of somatic hybrid cells in comparison with parental tumor cells maintained in vitro. *Tohoku J. exp. Med* **145**: 447—453, 1985.

12) Desilva M. A., Wepsic H. T., Mizushima Y., Nikceovich D. A. and Larson C.H.: Modification of in vitro and in vivo BCG cell wall-induced immunosuppression by treatment with chemotherapeutic agents or indomethacin. *J. Natl. Cancer Inst.* **74**: 917—921, 1985.

13) 吉川俊史, 山下直宏, 加藤弘巳, 矢野三郎: 血清コリンエステラーゼ異常症の1例. 日本内科学会雑誌 **74**: 1103—1107, 1985.

14) 加藤弘巳, 矢野三郎: グリチルレチン酸-3-モノグルクロナイドならびに「芍薬」有効成分ペオニフロリンの酵素免疫測定法に関する研究. *Therapeutic Research* **2**: 1118—1123, 1985.

15) 城石平一, 加藤弘巳, 大角誠治, 矢野三郎: 糖尿病性神経障害に対する和漢薬治療の試み—桂枝加朮附湯, 八味地黄丸, 牛車腎気丸の使用経験. 和漢医薬会誌 **2**: 144—5, 1985.

16) 浜崎智仁, 小林 悟, 矢野三郎: 血液粘度と疾患. *Therapeutic Research* **2**: 18—24, 1985.

17) 浜崎智仁, 小林 悟, 浦風雅春, 矢野三郎, 熊谷 朗: エイコサペンタエン酸(EPA)が赤血球変形態を改善する機序について. 血液と脈管 **16**: 65—67, 1985.

18) Mizushima Y. and Cohen E.P.: Stimulation of lymphoid cell proliferation by M. orale, a common cell culture contaminant. *Infect. Immun.* **50**: 636—640, 1985.

◆ 総 説

1) 矢野三郎：漢方と炎症。Medicament News 第1119号：4—5, 1985.

2) 矢野三郎：糖尿病性神経障害のケア—痛みとしびれの漢方療法。Practice 2 (4)：397—400, 1985.

3) 矢野三郎, 城石平一：糖尿病性神経障害に対する和漢薬治療の試み。Pharma Medica 新春増刊号：49—53, 1985.

4) 城石平一, 矢野三郎：糖尿病の治療—漢方薬。現代医療 17：1261—1265, 1985.

5) 矢野三郎：ステロイド剤の隔日投与・間接投与・離脱法。Medicina 22：1182—1183, 1985.

6) 矢野三郎：中年の糖尿病と甲状腺疾患。Medical Practice 2：1284, 1985.

7) 矢野三郎：気管支喘息と甲状腺機能異常症。Medical Practice 2：1660, 1985.

8) 高田良久, 矢野三郎：グリココルチコイドレセプターに関する最近の知見。代謝 22：1763, 1985.

◆ 学会報告

1) Hamazaki T., Urakaze M. and Yano S.: Intravenous infusion of fish oil rich in eicosapentaenoic acid (EPA). International Congress on Essential Fatty Acids, Prostaglandins and Leukotrienes, 1985, 3, London.

2) Urakaze M., Hamazaki T. and Yano S.: The effect of intravenous infusion of fish oil rich in eicosapentaenoic acid to rabbits on platelet aggregation. International Conference on Thrombosis and Haemostasis, 1985, 7, San Diego.

3) Hamazaki T. and Yano S.: The combined use of niceritol and a low dose of acetylsalicylic acid. International Atherosclerosis Symposium, 1985, 10, Melbourne.

4) Urakaze M., Hamazaki T. and Yano S.: The injection of fish oil rich in eicosapentaenoic acid into rabbits. International Atherosclerosis Symposium, 1985, 10, Melbourne.

5) Ito M., Yamashita N., Sugiyama E., Maruyama M. and Yano S.: Low natural killer cell activity in the lung of patients with pulmonary sarcoidosis. World Congress on Diseases of the Chest, 1985, 8, Sydney.

6) Yamashita N., Suzuki H., Sugiyama E., Yano S. and Ito M.: Prostaglandin E₂ inhibits the generation of phytohemagglutinin-activated killer activity in human peripheral blood lymphocytes. First International Conference of Anti-

cancer Research, 1985, 10, Loutraki.

7) Ohgaku S., Morioka S., Yano S., Yamamoto H., Okamoto H. and Tochino Y.: NON MICE, A NEW ANIMAL MODEL FOR NON-OBESE NIDDM. Congress of the International Diabetes Federation, 1985, 9, Madrid.

8) 四辻 彰, 柿沢裕美, 保田 隆, 才川 勇, 大角誠治, 矢野三郎, 上田 泰： β -lactam 系抗生剤の Sub-MIC に関する研究。糖尿病患者血清中での抗菌作用。第34回日本感染症学会東日本地方会総会・第32回日本化学療法学会東日本支部総会, 1985, 11, 東京.

9) 加藤弘巳, 中田貴子, 矢野三郎, 金岡又雄：グリチルレチン酸モノグルクロナイドの酵素免疫測定法の開発とその臨床応用。第2回和漢医薬学会総会, 1985, 9, 京都.

10) 浦風雅春, 浜崎智仁, 矢野三郎, 小林 悟：エイコサペンタエン酸 (EPA) 濃縮魚油エマルジョンの家兎への点滴静注。日本動脈硬化学会冬季大会, 1985, 1, 東京.

11) 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎：エイコサペンタエン酸投与方法の変遷。第41回中部地区老年医学談話会。1985, 1, 名古屋.

12) 佐野豪泰, 稲垣 均, 池田 充, 黒田 寛, 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎：ダイアライザー内及び血液回路内洗浄の重要性とその効果。富山県腎疾患 人工透析研究会, 1985, 6, 富山.

13) 浦風雅春, 浜崎智仁, 矢野三郎：エイコサペンタエン酸エマルジョンの家兎への点滴静注 (第二報)。日本臨床代謝学会, 1985, 2, 東京.

14) 稲垣 等, 佐野豪泰, 黒田 寛, 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎：ダイアライザー内 (血液側) 及び血液回路内洗浄法。第30回人工透析研究会, 1985, 6, 東京.

15) 向野勝美, 水越貴実子, 緑 礼子, 西部行雄, 浜崎智仁：漁村住民と山村住民の動脈硬化に関する一考察。日本公衆衛生学会, 1985, 10, 金沢.

16) 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎, 熊谷 朗：農村と漁村での血栓症のパラメーターの比較。日本血栓止血学会 1985, 11, 岐阜.

17) 浦風雅春, 浜崎智仁, 矢野三郎：EPA-TG 乳剤の家兎への静脈投与。日本血栓止血学会, 1985, 11, 岐阜.

18) 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎：数種の EPA 含有脂質を使つての EPA 呼吸効率の研究。日本血栓止血学会, 1985, 11, 岐阜.

19) 高田良久, 中尾皖英, 矢野三郎：Glucocorti-

coid 受容体の SH 剤などによる再活性化について、第58回日本内分泌学会学術総会、1985、5、名古屋。

20) 大角誠治、森岡尚夫、矢野三郎、山本 博、岡本 宏、棚野義博：ICR 由来 NON マウスのヒト II 型糖尿病モデルとしての特徴について、第28回日本糖尿病学会総会、1985、5、大津。

21) 山下直宏、杉山英二、丸山宗治、水島 豊、矢野三郎：胸部疾患に関する免疫学的研究。(II)肺癌患者末梢血リンパ球の Nonspecific Killer 活性の検討。第82回日本内科学会講演会、1984、4、名古屋。

22) 山下直宏、伊藤正己、丸山宗治、杉山英二、佐藤雅樹、矢野三郎：ヒト末梢血リンパ球の Nonspecific killer 活性誘導に及ぼす Prostaglandin E₂、Dexamethasone の効果、第15回日本免疫学会総会、1985、12、福岡。

23) 杉山英二、岩田正徳、山下直宏、矢野三郎：カプトプリルの抗リウマチ作用—一人リンパ球機能抑制作用について—、第29回日本リウマチ学会総会、1985、5、福岡。

24) 杉山英二、山下直宏、矢野三郎：悪性関節リウマチの一例、第1回北陸免疫疾患症例検討会、1985、11、金沢。

25) 森蔭俊彦、多喜博文、奥村 正、中村 文、山下直宏、水島 豊、矢野三郎：悪性腫瘍に対するヒト rIFN- γ の2使用例、第3回北陸腫瘍免疫化学療法研究会、1985、9、金沢。

26) 丸山宗治：セフェム系抗生物質によると思われる肺出血の一例、第13回北陸呼吸器疾患懇話会、1985、5、富山。

27) 森岡尚夫、三輪淳夫、北川正信：心房内に腫瘤を形成し、DIC を合併した肺小細胞癌の1剖検例、第13回北陸呼吸器疾患懇話会、1985、5、富山。

28) 川崎 聡、星野 清、沢崎茂樹、水島 豊、矢野三郎：気管支内異物により、10数年来気管支喘息様症状を呈した1例、第32回日本結核病学会、第21回日本胸部疾患学会、日本気管支学会合同北陸地方会、1985、11、福井。

29) 星野 清、池本雅仁、水島 豊、矢野三郎：気管支喘息と甲状腺機能との関連性について、第32回日本結核病学会、第21回日本胸部疾患学会、第6回日本気管支学会合同北陸地方会、1985、11、福井。

30) 森蔭俊彦、水島 豊、長浜宏篤、横山彰仁、矢野三郎：シスプラチン大量間歇投与における腎障害の基礎的研究、第32回日本結核病学会、第21回日本胸部疾患学会、第6回日本気管支学会合同北陸地方会、1985、11、福井。

31) 中村 文、横山彰仁、森蔭俊彦、星野 清、

丸山宗治、杉山英二、山下直宏、水島 豊、矢野三郎：悪性腫瘍診断における TPA、CEA、Ferritin、IAP の有有性の検討、第32回日本結核病学会、第21回日本胸部疾患学会、第6回日本気管支学会合同北陸地方会、1985、11、福井。

32) 平田 仁、森蔭俊彦、星野 清、丸山宗治、山下直宏、水島 豊、矢野三郎：年小しより血痰を愁訴していた73才の左肺下葉形成不全の1例、第14回北陸呼吸器疾患懇話会、1985、11、金沢。

33) 奥村 正、深川和子、水島 豊、山下直宏、杉山英二、丸山宗治、星野 清、矢野三郎：肺癌経過中に気管支喘息を発症した2例、第19回日本肺癌学会北陸地方会、1985、6、富山。

34) 平田 仁、水島 豊、山下直宏、杉山英二、丸山宗治、星野 清、奥村 正、矢野三郎、村上新、山本恵一：ステロイド投与を契機とし急激に多彩な臨床症状を呈した ACTH 産生肺小細胞の一例、第19回日本肺癌学会北陸地方会、1985、6、富山。

35) 長浜宏篤、水島 豊、山下直宏、杉山英二、丸山宗治、星野 清、矢野三郎：CDDP の腎毒性に關する基礎的研究、第26回日本肺癌学会総会、1985、11、仙台。

36) 星野 清、川崎 聡、水島 豊、矢野三郎：10数年来の気管支内異物が誘因として考えられた気管支喘息の1例、第5回富山呼吸器疾患研究会、1985、19、富山。

37) 星野 清：集学的治療により著効を呈した肺癌症例の検討、第8回富山肺癌研究会、1985、5、富山。

38) 水島 豊、山下直宏、矢野三郎：マウス腹水型腫に対する OK-432 及び N. rubra-CWS の抗腫瘍効果の比較検討、第44回日本癌学会総会、1985、10、東京。

39) 水島 豊：内科領域における肺感染症の現状、第8回富山医薬大医学会学術集会、1985、12、富山。

40) 朝日寿実、大角誠治、平田 仁、森岡尚夫、城石平一、矢野三郎：PGE₁、インスリン湿布併用療法が有効であった糖尿病性壊疽の一例、第31回日本糖尿病学会中部地方会、1985、3、富山。

41) 長浜宏篤、奥村 正、加藤弘巳、矢野三郎：抗生物質によるビタミン K 欠乏症の自験例—セファゾリン投与により発症した神経性食思不振症例を中心として—、第127回日本内科学会北陸地方会、1985、6、金沢。

42) 多喜博文、杉山英二、山下直宏、加藤弘巳、矢野三郎：多彩な自己抗体陽性を呈した Behçet 病の1例、第128回日本内科学会北陸地方会、1985、

福井.

43) 森岡尚夫, 杉山英二, 山下直宏, 加藤弘巳, 矢野三郎, 若木邦彦, 赤川直次: 多彩な脳神経症状を呈し脳脊髄液に腫瘍細胞を認めたマクログロブリン血症の1例. 日本内科学会第135回東海第126回北陸合同地方会, 1985, 11, 名古屋.

44) 池本雅仁, 加藤弘巳, 中尾皖英, 矢野三郎: 当科における自己免疫性甲状腺疾患の合併症について. 第11回富山内分泌代謝セミナー, 1985, 7, 富山.

45) 池本雅仁, 中尾皖英, 矢野三郎: 当科における血清フリーT₃, フリーT₄測定の実験. 第1回北陸フリーサイロイドホルモン研究会, 1985, 12, 金沢.

46) 岡田尚美, 池本雅仁, 加藤弘巳, 中尾皖英, 矢野三郎: 続発性アミロイドーシスに甲状腺機能低下症を合併した1例. 第4回北陸合同内分泌・代謝談話会, 1985, 11, 金沢.

◆ その他

1) 熊谷 朗, 藤村 一, 矢野三郎, 寺澤捷年: 座談会—和漢薬研究をめぐる諸問題. Pharma Medica 新春増刊号 9—20, 1985.

2) 矢野三郎ほか: 座談会—医学と薬学. ファルマシア 21: 967—973, 1985.

内 科 学 (2)

教 授	篠 山 重 威
助 教 授	水 村 泰 治
講 師	飯 田 博 行
講 師	高 田 正 信
助 手	余 川 茂
助 手	藤 田 正 俊
助 手	中 島 久 宜
助 手	麻野井 英 次
助 手	井 内 和 幸
助 手	秋 山 眞 明
助 手	藤 木 孝 樹
助 手	能 沢 孝 樹
助 手	吉 田 繁 樹

◆ 著 書

1) Sasayama S. and Kawai C.: Left atrial function in mitral valve disease. In Recent Progress in Mitral Valve Disease. by Duran C., Angell W.W., Johnson A.D., Oury J.H. (Ed.) 96—109, Butterworths, London, 1984.

2) 篠山重威, 河合忠一, 英保 茂, 桑原道義:

左室造影像の画像処理. 左室腔のダイナミクス.

「心臓イメージング」阿部 裕, 桑原道義 監修, 159—169, 朝倉書店, 1985.

3) 篠山重威, 河合忠一, 英保 茂, 桑原道義: 超音波画像処理. Mモード心エコー図画像処理.

「心臓イメージング」阿部 裕, 桑原道義 監修, 206—214, 朝倉書店, 1985.

4) 水村泰治: 腎梗塞・腎静脈血栓. 「新臨床腎臓病学」武内重五郎編, 396—403, 南江堂, 1985.

5) 水村泰治: 腎疾患—現代医学の立場から. 「現代の漢方治療」熊谷朗編, 35—37, 東洋学術出版社, 1985.

◆ 原 著

1) 篠山重威, 小坂田元太: 機械的負荷における心室中隔動態. J. Cardiography 14 (suppl 4): 23—33, 1984.

2) Lee J. D., Sasayama S., Kihara Y., Ohyagi A., Fujisawa A., Yui Y. and Kawai C.: Adaptations of the left ventricle to chronic volume overload induced by mitral regurgitation in conscious dogs. Heart and Vessels 1: 9—15, 1985.

3) 秋山 眞, 篠山重威, 吉田繁樹: 洞不全症候群における電気生理学的検査とHolter心電図の応用. 日本臨床 43: 2269—2273, 1985.

4) Sasayama S.: Cardiac hypertrophy as early adjustments to a chronically sustained mechanical overload. Jpn. Circ. J. 49: 224—231, 1985.

5) Sasayama S., Nonogi H., Miyazaki S., Sakurai T., Kawai C., Eiho S. and Kuwahara M.: Changes in diastolic properties of the regional myocardium during pacing-induced ischemia in human subjects. J. Am. Coll. Cardiol. 5: 599—606, 1985.

6) 浅田尚紀, 英保 茂, 桑原道義, 小坂田元太, 河合忠一, 石井 靖, 篠山重威: 超音波左心室断層像からの心筋立体構成. 電子通信学会論文誌 68: 973—980, 1985.

7) 岸本千晴, 門田和紀, 野々木宏, 篠山重威, 松森 昭, 桜井恒太郎, 若林 章, 河合忠一, 村上知行, 藤田正俊: 頭部両室造影による肥大心の中隔形態および動態分析: 特に心尖部肥大型心筋症を中心に. J. Cardiography 15(suppl 4): 13—21, 1985.

8) Sasayama S. and Kawai C.: Myocardial diastolic changes during pacing-induced ischemia. Cardiol. Board Rev. 2: 43—58, 1985.

9) Sasayama S., Kawai C., Eiho S. and